

## 平成25年度「知的財産政策」レポート課題

- 次の問1～問5の中から2つを選択して論じなさい。なお、必要に応じて、以下の参考資料を引用すること。

【問1】知的財産政策の現状と課題について、「生命科学と知財」又は「情報技術と知財」の観点から論じなさい。なお、公共性と知財のバランスについても論及すること。

【問2】知的財産政策の現状と課題について、「情報管理と知財」の観点から論じなさい。なお、「安全保障と知財」の観点についても論及すること。

【問3】知的財産政策の現状と課題について、「文化・伝統と知財」の観点から論じなさい。なお、関連する具体的な事例についても言及すること。

【問4】知的財産政策の現状と課題について、「地域政策と知財」の観点から論じなさい。なお、関連する具体的な事例についても言及すること。

【問5】知的財産政策の現状と課題について、「開発（環境）と知財」又は「公衆衛生（人権）と知財」の観点から国際的に論じなさい。なお、公共性と知財のバランスについても論及すること。

（参考資料）

1. G. Hardin, “The Tragedy of the Commons” Science, 162 (1968), p.1243～1248
2. Michael A. Heller and Rebecca S. Eisenberg, “Can Patents Deter Innovation? The Anticommons in Biomedical Research”, Science, 280 (1998), p.698～701

（レポート形式）

レポートは、1枚目の最初に氏名、学籍番号を記載すること。書式については、A4用紙（縦）に40字（縦）×40字（横）の横書きで作成し、選択した2つの解答を併せて8000字程度にまとめること。ワープロ可。

（レポート提出期限）

平成25年8月9日（金）正午

（公共政策大学院係まで1部、提出すること。）

※やむを得ない理由がある人は、レポートの電子データを添付ファイルに添付して、加藤先生宛にメールで直接、送ってください。送り先は、以下の通りです。

[kato@law.nihon-u.ac.jp](mailto:kato@law.nihon-u.ac.jp)